



たもんじ 交流農園

2021年6月号



便利 Vol.39

つながる
墨田区

特別寄稿

蛍プロジェクト始動!「お尻に火が付きました!」



向島百花園 茶房さほら 佐原滋元

田村さんの「蛍プロジェクト」という提案に出会ったのが、このたもんじ交流農園便りの2月号で、早速、賛成の手を挙げました。私も、2006年頃から数年間、蛍の飼育を続けていたからです。残念なことに、ケージの網の破れから、蛍が全員逃げ出し中断しました。この蛍は、息子の婿入り先の上越から来ました。庭で育てている蛍の幼虫を百花園でも育てればと送ってくれたのです。育て方がわからないので、越谷市や足立区での蛍飼育を勉強させていただきました。3月の定例会で、このような経験をお話ししたところ、早速、取り組みが決まり、私もお手伝いさせていただく事になりました。

当初は、来年の夏に蛍が飛ぶことを目指し、夏から幼虫を育てる、ゆっくりした計画でしたが、観光協会の森山理事長のお友達で観光アドバイザーの西園寺さんをご紹介いただいたことから、話が急激に進むことになりました。5月15日に、農園で西園寺さんとお目にかかり、田村さんをはじめとした連絡グループができ、西園寺さんが育てている幼虫を譲っていただくことになったのです。うまく行けば6月中旬くらいから蛍にお目にかかれるのですが、そのまま放してしまうと、幼虫が捕れず、来年に繋がりません。そこで急遽、私が使っていたケージの網をステンレスの網に張り替え、その中で幼虫を育てることにし、何とか、5月中にケージの準備が完了しました。6月末には、無事に蛍の舞ってくれることを願っている毎日です。(編集追記:これから来月にかけて、暗くなってから農園に行くと、運がよければ『たもんじ蛍』の第一期生を見ることができるともかもしれません。お楽しみに!!)



「車いすでも野菜作りをしたい!!」プロジェクトも進行中!!

今年度のプロジェクトのひとつで、イベント時には寄せられるように可動式で、車いすの足元が邪魔にならない設計のプランターを創り出す、という構想! そんな中自分の畑を嵩上げして車いすでも栽培できるか試したいと農園会員さんからの相談があり、それじゃあ実験として当初案にあった馬蹄型のプランターを一つ造ってみようとして始めてみました! 実際に栽培したい方、リサーチに協力してくれる方を募集しています。(牛久光次記)



当さんはギアを作る技術者です。



第1回 たもんじ交流農園 フォトコンテスト×切延長

前号で6月19日(土)としていた応募×切を6月30日(水)まで延長しますので、スマホや携帯で撮った「初夏」「農園とこどもたち」「負けるな!!」の各作品(写真)を私末林宛にどしどしご応募(メールないし郵送)願います。皆さんの作品で物置小屋の扉を埋め尽くしましょう!!(末林和之記)

新・農園のお隣さんご紹介

青木彬さんが横浜の方に引っ越すことになり、ご友人の大竹さんに、引き継いで頂きました。

区画 12-2①

大竹さゆりさん

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等



① 保育士として保育園で働き、並行して墨田区近辺で子ども向け・親子向けのワークショップやイベントを企画運営しています。墨田区に引っ越して9年目にして、子どもの頃は当たり前だった畑で過ごす時間を、墨田区でも楽しめる機会が出来たこと、嬉しく思っています。よろしくお願ひいたします。

② ブロッコリー、芽キャベツなど、育てたことのない野菜に挑戦してみたいです。

③ 「連作障害」について「相性の良い野菜」と「相性の悪い野菜」の組み合わせなど



④ 実家が農家で子どもの頃から畑に触れ、熱海で親子の農業体験を企画していたこともあり、住んでいる場所で畑に触れ合える時間が持てることを嬉しく思っています。野菜を作るだけでなく、畑に来た時に皆さんと交流が出来ることに魅力を感じています。

第13回 今、ハマってます! 菊池 毅さんの場合



(撮影 2019/4)

だいぶ前からですが、落語にハマってます。きっかけは、NHKの連続テレビ小説「ちりとてちん」。このドラマを特別見ていたわけではないですが、これがきっかけで落語に興味を持ち、一度浅草演芸ホールに見に行き、面白さにハマりました。



(©2007年 NHK)

単純に笑えると太話あり、泣ける人情話ありと、バリエーションが広く、また同じ演目でも演者によって味がかわるのが、他にはない聴き所だと思います。唐茄子屋政談とか、野菜が出てくる演目も結構あります。最近は寄席とは縁遠くなりましたが、テレビでやっている落語は、だいたい見えていますし、

たもんじ農園の行き帰りに、落語を聴いているときもあります。

最近知りましたが、たもんじ農園へ行く途中に通ることがある、鳩の街通り商店街に小さな寄席ができたそうです。その他、結構あちこちで小規模な落語会をやったりしているんですね。落語に興味がある方は、一度浅草演芸ホールなり、上野の鈴木演芸場なりの定席と呼ばれるところに行くことをお勧めします。それまで知らなかった世界が待っていると思いますよ。新型コロナ環境下では、なかなか寄席には行きづらいですが、早く寄席で笑える日々が戻ってくるといいですね。



(本写真はフォトコンテスト応募作品として頂いたものです)

**水口アドバイザー来園日…6/19(土) 10:00~15:00、7/11(日) 10:00~15:00、
耕作チーム作業日…6/19(土)6/27(日)各 10:00~、7/3(土)7/11(日)7/17(土)
7/25(日)7/31(土)各 9:00~(7月から開始時刻が早まります)** (お花の植替え予定)

尚、7/24(土)は、農園会員の皆様には直接は関係ないのですが、JA 全国環境協会「日帰り”寺島なす”収穫ツアー」の予定です。



たもんじ交流農園便り
No.39-般 2021.6.21 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

セブン-イレブン 記念財団



Facebook